

5周年記念開催決定！！

Short Shorts Film Festival 2003

6月7日(土) 東京を皮切りに全国でツアー開催

日本発、国籍を越えたショートフィルムの祭典

日本で初めて本格的な短編映画をフィーチャーする映画祭として誕生した「Short Shorts Film Festival」。本年度、本映画祭は1999年の第1回開催から数えて、ついに5周年を迎えます。

短い作品で、1,2分、長くても30分程度、ジャンルもコメディ、サスペンス、ヒューマンドラマ、アニメーションと多彩なショートフィルムは、短編ゆえのシャープな切れ味と、見終わった後の余韻が大きな魅力です。また、自らの才能をアピールするアイテムとして、欧米では、無名の映画監督がこのショートフィルムをきっかけに一躍スターダムにのしあがるのが珍しくありません。ルーカス、スピルバーグ、ベツソンなどの監督も、ショートフィルムでその才能の片鱗をアピールし、注目されたことがはじまりでした。

「Short Shorts Film Festival」は、このようなショートフィルムを通してビジュアルカルチャーの国際的な交流をはかることをミッションとしてスタート。過去4年間で全国6都市、7会場で8万人以上の観客を動員しました。更に、去年は日本国内のナショナルツアーのほかにも、ロサンゼルスでのキックオフ特別スクリーニングを敢行、さらにシンガポールでは、2年連続開催を行うなど、日本発の映画祭が海外に展開する「ユニーク」な国際映像交流事業として、注目を集めています。

5年目を迎える「Short Shorts Film Festival 2003」は、世界56カ国から1300本以上の応募を集め、ますます国際的な映画祭としての質を高めています。アジアを起点とするショートフィルムのムーブメントの中心的存在として、人材の育成発掘 地域社会との結びつきの活性化 文化交流 次世代型ビジュアルコンテンツの開発 という4つの柱を中心にさらに成長していきます。

5周年特別企画 本年度オスカー受賞監督を含む5有名監督のショートフィルムを公開！

MAESTRO SHORT SHORTS (マエストロ・ショートショート)

「Short Shorts Film Festival」は、初年度のジョージ・ルーカス監督作品から続き、著名監督の初期作品を毎年上映してきました。本年度は、5周年を迎えたことを記念して、先日行われたアカデミー賞でもオスカーを獲得した「戦場のピアニスト」ロマン・ポランスキー監督、「トーク・トゥー・ハー」のペドロ・アルモドバル監督他を含む総勢5人の豪華監督達の初期作品を上映します。

今年の上映ハイライト:アカデミー賞受賞ショートフィルムも上映！

ACADEMY SHORT SHORTS (アカデミー・ショートショート)

アカデミー賞®ショートフィルムカテゴリ - の受賞作品を紹介するプログラム設置。

WAR & PEACE SHORT SHORTS (戦争&平和・ショートショート)

「戦争&平和」を主たるテーマとした作品を、インターナショナル・セレクションの各プログラムで1本ずつ上映する他、海外映画祭でも話題のヒューマニズムの真髄に迫る作品群を特別プログラムにて紹介。

60 SECOND SHORT SHORTS (60セカンド・ショートショート)

究極の1分に凝縮されたオーストラリア生まれの短編シリーズ「ルーニング」も各プログラムに、特別上映として紹介いたします。

今春オープン予定の六本木ヒルズ、ガーデンアリーナにて特別上映&トークイベント

映画祭特別会場として、従来のあるラフォーレミュージアム原宿を拠点としながら、今年は今春オープン予定「六本木ヒルズ」内のオープンスペース、「ガーデンアリーナ」において、特別上映&トークイベントを行う予定です。未来のビジュアルコンテンツの行方を探るなど、よりビジネス的でアカデミックなテーマを基本に、パネラーをお招きして映画祭を盛り上げます。

「ショートフィルムを通じたムーブメントからグローバルな「Visual Art Community」の創造」

ビジュアルカルチャーの原点ともいえるショートフィルム。現在進行形の情報産業社会を占う未来地図としてのショートフィルムを通じて、私たちは、世界に点在するビジュアルメーカーが集結する国境を越えた活動と21世紀型コミュニティーの創造を、日本を起点に推進します。

「映像文化・映像産業とテクノロジーを考える」

今後のアートシーンを牽引する原石の輝きを秘めたショートフィルム。20世紀に開花した映像文化は、常にそれを支える人間の知恵と英知の結晶であるテクノロジーと表裏一体で成長してきました。21世紀をむかえた今、情報産業大革命の最中において、映像文化とテクノロジーの関係を更に深く考察していきます。

過去3年間の「アメリカン・ショート・ショート フィルムフェスティバル」、さらに昨年の「Short Shorts Film Festival 2002」の実施、運営は、様々な方々の協力ネットワークを抜きに語ることはできません。

本年度開催においても、引き続き、4年間で培ってきたネットワークの力で、より進化した映画祭を創りあげていきます。

下記に、本年度の主な協力ネットワークをご紹介します。

ジョージ・ルーカス氏 & ロマン・ポランスキー氏

「アメリカン・ショート・ショート フィルムフェスティバル」の実施意義をご理解いただき、第1回実施に自らの作品をご提供いただいたジョージ・ルーカス氏。これを契機に今後も本映画祭を支援したいとの立場から、本年度実施にあたって公式な激励メッセージを寄せていただきました。ジョージ・ルーカス氏が日本の映画祭を応援するのは過去に例がないとのこと。

また、先日行われたアカデミー賞で監督賞を受賞した巨匠、ロマン・ポランスキー氏からも「ショートショート フィルムフェスティバル」、そして日本で映像クリエイターを目指す方々への激励レターが届きました。

ショートフィルムでその才能を開花させた氏より、ショートフィルム制作の成功の秘訣をアドバイスいただきました。(最末に添付)

各実施都市

実施都市では、それぞれ地域自治体や、商工会議所、商店会、ボランティアグループなどを巻き込んだフィルムフェスティバルとして演出していきます。本年度は、札幌、松本、名古屋、大阪、福岡での開催を予定しております。

昨年同様、ノミネート作品より下記アワードが選定されます。

実行委員会選定による表彰作	ショートショート アワード
特別審査員選定による表彰作	審査員特別賞
観客選定による表彰作	オーディエンス アワード

特別審査員には、(アルファベット順)クレルモンフェラン短編映画祭創立メンバー ロジェー・ゴナン氏、映画監督 黒沢清氏、欧州で活躍する撮影監督 永田鉄男氏、そしてプレミア編集長 グレゴリー・スター氏が決定しています。(あと1名参加予定)

は、入場時に、観客の皆さんに投票用紙を配布、鑑賞したプログラムの中から優秀作を選んでいただくシステムです(東京開催のみ)。投票結果は、開催期間中に集計しホームページで発表します。

<今年度上映作品について>

世界中のフィルムメーカーから公募で集められた熱のこもった応募作品に加え、映画祭の国際ネットワークを駆使して集められた、この映画祭ならではの海外話題作をプログラムしてご紹介します！

〈一般プログラム〉

世界中から1300本以上、56ヶ国からの応募作品が集まりました。この膨大な国際色豊かな応募作品の中から46作品、22ヶ国の作品を、日米の実行委員会メンバーが正式に「オフィシャルセレクション」として選考。このラインアップが、アワードの審査対象となります。

インターナショナル・セレクション(全6プログラム)

普段あまり見ることができない日本未公開の作品を中心に紹介。

ナショナル・セレクション(1プログラム)

日本国籍の作品並びに日本をテーマに制作された作品を紹介。

〈アカデミー・ショートショート〉

現在までの米国アカデミー賞ショートフィルムカテゴリ-の受賞作品をプログラム化。世の中、低予算、短期間で作られたショートフィルムばかりではありません。ここに世界一流のショートフィルム作品群をご紹介します。

〈マエストロ・ショートショート〉

5人の有名監督の初期ショートフィルムを紹介！過去4年間にわたり、ジョージ・ルーカス、マーティン・スコセッシ、ティム・バートン、ジェーン・カンピオン監督など、世界の第一線で活躍する監督たちの初期ショート作品を上映してきました。今年は、5周年を記念して、先日のアカデミー賞でもオスカーを獲得した監督2名含む、下記作品を「インターナショナルセレクション」内にそれぞれ1作品上映します。(アルファベット順に紹介)

ペドロ・アルモドバル(スペイン)

“オール・アバウト・マイ・マザー”(99年)の監督・脚本。00年アカデミー賞で最優秀外国語映画賞受賞。本年度アカデミー賞にてオリジナル脚本賞受賞(トーク・トゥ・ハー)。

ヤン・クーネン(オランダ/フランス)

“ドーベルマン”(97年)で、新しいエンターテインメント・ムービーの旋風を世界に巻き起こす。仏映画界の妖精、エマニエル・ベアール主演のショート作品「Le Dernier Chaperon Rouge」の撮影は、審査員の永田鉄男氏が担当。

フェルナンド・メイレーレス(ブラジル)

2002年カンヌ国際映画祭の正式出品作品、2002年東京国際映画祭正式出品作品の話題作「CITY OF GOD」の監督。この作品のショートフィルム版を日本で初公開予定。

アレキサンダー・ペイン(アメリカ)

“アバウト・シュミット”の監督。この作品でゴールデングローブ賞、主演男優賞と監督賞を受賞。

ロマン・ポランスキー (ポーランド/フランス)

“ローズマリーの赤ちゃん”(68年)や「テス」(79年)の監督・脚本。本年度のアカデミー賞において、監督賞(戦場のピアニスト)受賞。

〈東京会場特別上映:戦争&平和プログラム〉

東京開催では、平和への願いを込めて、各プログラムに「戦争」をテーマ(或いはその一部)にしたショートフィルムを上映する他、各国の映画祭でも評価が高い秀作を「戦争&平和プログラム」としてフィーチャーします。

〈60セカンド・ショートショート〉

1分に凝縮されたオーストラリア生まれの短編シリーズ「ルーニグ」を各プログラムに、特別上映として紹介いたします。短い中にもセンスが光る、究極の1分ショートをお楽しみください。

昨年に引き続き、日本縦断開催を前にハリウッドでの特別上映決定！

日本で唯一、ツアー開催という特徴を持つフィルムフェスティバル「Short Shorts Film Festival」は、今年も東京を皮切りに日本全国6都市(別紙参照)での開催を予定しています。作品上映だけでなく、オリジナルのオープニングセレモニー、トークショーの実施など、各都市の実行委員会のアイデアあふれる個性的なフェスティバル演出にご期待ください。

また、昨年初めて実施したハリウッド「エジプシャン・シアター」での特別開催が、今年も決定しました。日本での開催に先駆けた4月28日～5月1日までの3日間、日本で誕生したフィルムフェスティバルが、アメリカの映画の殿堂で披露されます。

より進化するショートフィルムの祭典に、今年もぜひご注目下さい。

SHORTSHORTS
FILM FESTIVAL

宣伝活動

Short Shorts Film Festival 2003 メインビジュアル

本年度映画祭のメインビジュアルは、5回目の開催を記念して、数字の『5』を全面にわたって明確なデザインに決定いたしました。数字の『5』は、フィルムの帯を模したりボンで表現。色調は青とカラシ黄色を使い、ハイコントラストに数字を強調しています。過去4年間の顔をモチーフにしたメインビジュアルから一点、区切りの年、そして新たなスタートを迎える意気込みをビジュアルに託しました。



「Short Shorts Film Festival 2003」オフィシャルウェブサイト

今年も「Short Shorts Film Festival」のオフィシャルウェブサイトをオープンいたします。映画祭インフォメーションや上映作品の紹介だけでなく、フィルムメーカーのインタビュー、映画祭に関わる人々のエピソード、実施会場にちなんだ情報など、きめの細かい情報の発信を予定しています。アドレスは、 www.shortshorts.org 。なお昨年度のウェブサイトも、このアドレスのバックナンバーにてご覧になれます。



「Short Shorts Lounge」Webサイト

「Short Shorts Film Festival 2003」上映スケジュール(予定)
ラフォーレミュージアム原宿 / 東京開催メイン会場

	11:30-13:20	13:50-15:40	16:10-18:00	18:30-20:20
6月7日 (土)		戦争 & 平和	A	B
6月8日 (日)	C	D	E	アカデミー
6月9日 (月)	F	ジャパン	A	戦争 & 平和
6月10日 (火)	B	C	D	アカデミー
6月11日 (水)	ジャパン	E	F	クロージング

各プログラム完全入替制
A~F: インターナショナルセレクション

六本木ヒルズ特別上映(予定)

6月7日 (土)	シンポジウム & レイトショーを予定
6月8日 (日)	シンポジウム & レイトショーを予定

時間は未定

4月24日(木) ~ 「チケットぴあ」にて発売開始 !!

6月7日(金) ~ 11日(水)

ラフォーレミュージアム原宿 (東京都渋谷区神宮前1-11-6 ラフォーレ原宿6F)

入場券(税込) 1プログラム 前売り 1200円 / 当日 1500円

売券は、購入時にご希望の上映回をご指定ください。

学生は、前売り券と同額(当日、受け付けにて学生証を提示)で販売。

来場と同時に整理券を配布

チケット販売: チケットぴあ: 電話・オペレーター予約 : 0570-02-9999

音声ガイダンス : 03-5237-9966

P-code / プログラム券 : 500-033

@チケットぴあ : <http://t.pia.co.jp/>

お問合せ: ショートショート事務局 03-5214-1233

「Short Shorts Film Festival 2003」 実施スケジュール(全て予定)

【東京開催】

実施日 : 2003年6月7日(土)～11日(水)

実施会場 : ラフォーレミュージアム原宿 特別会場: 六本木ヒルズ(ガーデンアリーナ)
主催 : ショートショート実行委員会

【札幌開催】

実施日 : 6月10日(火)～15日(日)
10日は前夜祭。本祭は11日からの5日間の予定

実施会場 : 札幌アーバンホール
主催 : 札幌ショートショート実行委員会事務局

【大阪開催】

実施日 : 6月19日(木)～22日(日)
実施会場 : アメリカ村ビッグステップ4階・ビックキャット
主催 : 大阪ショートショート実行委員会

【松本開催】

開催期間 : 6月21日(土)・22日(日)
実施会場 : ピカデリーホール
主催 : 松本ショートショート実行委員会

【名古屋開催】

開催期間 : 6月21日(土)～27日(金)
実施会場 : センチュリーシネマ(名古屋パルコ東館8階)
主催 : 名古屋ショートショート実行委員会

【福岡開催】

実施日 : 6月25日(水)～7月21日(月)
実施会場 : 三菱地所アルティウム(イムズ8階)
主催 : 福岡ショートショート実行委員会

報道関係の皆様からの掲載に関するお問い合わせ先
《写真紙焼き・ポジ、VTRその他の資料の貸出等もお申し付け下さい。》

株式会社サニーサイドアップ

kusumoto@ssu.co.jp まで、メールにてご連絡ください。

一般の方からのお問い合わせ先

ショートショート フィルムフェスティバル事務局
TEL.03-5214-1233

ROMAN POLANSKI

Paris, le 11 mars 2003

“Short film is a great first step for a budding filmmaker. That’s how I made my beginnings. Festivals of short movies gave me an opportunity to show my first efforts to the public and press. But it is a difficult discipline. To certain extend it’s harder to make an excellent short than an excellent full length picture.

Short form requires a specific, concise construction–no room for a padding!
Many short movies look like lost reels of full length feature, alas! Be ware...! And good luck.”

「新進監督にとって、ショートフィルムは大きな第一歩だ。私の始まりもそうだった。自分の「第一歩」が、一般やメディアの目に止まる機会を与えてくれたのは、多くの短編映画祭だった。ショートフィルムは試練でもある。長編の秀作を撮るより、ショートの秀作を完成させる方が難しいとも言えよう。

短いフォームには、明確で簡明な構造が要求される。無駄に詰込むスペースは無いのだ。不幸にも、長編映画の失われたリールを継足した様なショートフィルムがあまりにも多い事！要注意！そして、幸運を。」